

⑤ 家族防災会議を開こう！

地震に備え、家族で身を守る方法を話し合っておきましょう。

また、勤務先や学校等への外出時に被災した場合の連絡方法等について確認しておきましょう。

□ 役割分担の確認

- 日常の防災対策上の役割と地震発生時の役割について
- お年寄りや乳幼児を誰が助けるのか

□ 危険箇所のチェック

- ブロック塀や門柱に老朽化などの問題はないか
- 屋根瓦やアンテナに危険はないか
- ベランダの植木鉢等は落下しないよう固定されているか
- プロパンガスのボンベは鎖で固定されているか

□ 安全な空間の確保

- 家の中に家具のない安全なスペースを確保しているか
- 寝室や居間などには大型の家具を置いていないか（置いている場合は、転倒を防ぐ対策をとっているか）
- 出入口や通路には、物を置いていないか
- ガラスには飛散防止フィルムを貼っているか

□ 非常持出品のチェック

- 必要な品はそろっているか
- 保存状態や使用期限は適切か

□ 防災用具等の確認

- 消火器や救急箱の置き場所について
- 消火器の使い方、応急手当の方法を覚えているか
- 火災報知器（寝室等は設置義務）

□ 連絡方法や避難場所の確認

- 家族が離ればなれになったときの連絡方法について
- 避難経路・避難場所を確認しているか

※ 家族防災会議の結果を踏まえ、必要な防災対策を講じましょう。

【参考】災害時の安否確認

大きな災害が発生した場合、NTT東日本は「災害用伝言ダイヤル 171」、

各携帯電話会社は「災害用伝言板」の運用を開始します。

これらは、家族や知人に無事を知らせたい時や安否を確認したい時に利用できます。

安否確認の方法や使用順位を家族で話し合っておきましょう。



災害用伝言ダイヤル「171」

※携帯電話・PHSからも利用できます。
(一部の事業者を除く)

伝言を録音するとき

1 7 1 - 1 - 被災地内の自宅の電話番号
(固定電話に限る)

- ① 「171」をダイヤルします。
- ② 音声案内に従い、「1」をダイヤルします。
- ③ 自分の安否について家族や知人が聞く可能性の最も高い電話番号（例えば自宅の電話番号）を必ず市外局番（0XX-XXX-XXXX）から順にダイヤルし、音声案内にしたがって安否等のメッセージを録音してください。

伝言を再生するとき

1 7 1 - 2 - 被災地内の自宅の電話番号
(固定電話に限る)

- ① 「171」をダイヤルします。
- ② 音声案内に従い、「2」をダイヤルします。
- ③ 連絡を取りたい相手先の電話番号を必ず市外局番（0XX-XXX-XXXX）から順にダイヤルしてください。

※災害用伝言ダイヤルは、毎月1日、15日などに体験利用することができます！



災害用伝言板

※携帯電話のWEBサイトのトップ画面からアクセスして利用します。

伝言の登録

- ① トップ画面の「災害用伝言板」を選択。
- ② 画面が表示されたら、「登録」を選択。
- ③ 自由にコメントを入力。
- ④ その画面で「登録」を選択。
- ⑤ 伝言の登録が完了。

伝言の確認

- ① トップ画面の「災害用伝言板」を選択。
- ② 画面が表示されたら、「確認」を選択。
- ③ 相手の携帯電話番号を入力。
- ④ その画面で「検索」を選択。
- ⑤ 伝言の検索結果が表示。